

東京聖栄大学 後援会会報

編集発行
東京聖栄大学
後援会

◆学生の社会貢献活動◆

本学の学生団体(聖栄ピアヘルピングワークス)が、平成二十八年四月十六日に発生した熊本地震における募金活動を四月二十五日～四月二十八日の四日間にて実施しました。聖栄ピアヘルピングワークスの会員が、本学正門前や校内にて募金協力の呼びかけを行ったことで、多くの学生や近隣の方にご協力頂くことができました。集まった義援金は、日本赤十字社(東京都支部)を通して被災された方々のもとに届けられました。



日本赤十字社東京都支部訪問

会長挨拶

後援会会長 福本 雅則



まちをわたる風に秋の訪れを感じられる季節になってきました。会員の皆様方は、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。入学式終了後の後援会総会におきまして、本年度会長の任を仰せつかりました福本雅則

です。

私自身未だ至らぬ点が多く、役員の皆様のお力添えを得て本年度の活動を進めてまいりたいと思います。皆様方のご理解、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

さて、本年も三月に八期生が学窓を巣立ち、四月には期待を胸にした十二期生を迎えました。「送り出し、迎える。」学校では「いつもの道」ですが、少子化の昨今、新設大学ばかりか、既設の大学でも定員割れが伝えられています。しかし、東京聖

栄大学では本年度も定員を充足する入学者を迎えております。

これは、学校から発信されている、管理栄養士国家試験の合格者数や卒業生の進路状況の向上の結果に他ならないと思います。この結果は学生一人一人の努力、精進もさることながら、理事長先生、学長先生をはじめ教職員一体となった、学習環境の整備や指導内容の向上への努力と工夫の賜物と思います。これに少しでも応えられる後援会活動を、微力ながらも目指したいと思えます。

平成二十八年年度保護者会について

今年度の後援会と大学共催による保護者会は、十月八日(土)に決定されました。

ご子息、ご息女の大学での様子や就職の展望等について学年担任との懇談を通し、ご報告させていただきます。

また、教育内容について一層のご理解を深めていただきましたと存じますので、保護者の皆様のご参加をお待ちしております。保護者会終了後は、後援会主催による教員との情報交換の場として、懇親会(希望者)を予定しております。



昨年の保護者会

総会・役員会報告

役員会報告 三月五日(土)に役員会全体会が開催されました。

先ず、平成二十七年事業報告、同決算報告並びに会計監査報告があり、慎重審議の結果、同報告は承認されました。

引続き、平成二十八年事業計画案同予算案を審議、夫々承認された。さらに、進級する役員の方の二十八年留任が決定されました。

総会 四月一日(金)の大学入学式当日、本学わたなべ記念館に於いて、ご父母(保護者)多数の出席を得て総会が開催されました。

初めに、昨年度の事業報告、同決算報告並びに会計監査報告があり、異議なく承認された。

引続き、本年度事業計画案、同予算案が承認されました。

最後に、役員の変更が行われ、選任・委嘱された新役員の方々の御紹介の後、新会長には鈴木仁氏が選任されました。

併せて、平成二十八年役員のご紹介があり、議場にて満場一致で承認された。

尚、総会での決定事項は本学ホームページに掲載しております。

GPA制度について

(平成二十八年入学生より適用)

平成二十八年入学生より、GPA (Grade Point Average) 制度が始まりました。成績評価(秀・優・良・可・不可)を数値に換算し平均値化することにより、客観的数値に基づく履修指導に役立てるとともに、学生の主体的な履修管理を促すことを目的としています。また、学期毎に算出されるGPAを期間毎に比較検討し、学修計画等の指導に役立てています。

管理栄養学科

より充実した

学科を目指して

管理栄養学科長 橋場 浩子



第三十回の管理栄養士国家試験合格率は、九十五・一%と全国平均（新卒）の八十五・一%を十ポイントも上回る好結果となりました。昨年の合格率百分に続いて、実力的に向上してきております。三十年度からは、国試の日程が早まることが決定しており、本学も早めの準備対策を検討しているところです。

昨年度に引き続き、管理栄養学科一・二年生による海外研修を二十九年二月十二日から六日間口サンゼルスで行います。昨年度は給食施設・小児病院を見学後、現地のダイエティシヤンの講義を受けて大いに感銘を受けたようですが、今年度は現地大学生との交流も加え更に充実した内容にしたいと考えております。

教職課程（栄養教諭）では、二年次生の学校ボランティア実習が無事終了し、三年次生は来年の教育実習に向けての事前指導が始まりました。第一期生としての気概をもって臨んでほしいと期待しております。

さて、学科では、葛飾区との包括連携協定の一環として、九月二十二日（木）、「かつしかの元気食堂」二周年式典で、ヘルシーメニューの試食会や区民への栄養指導を行いました。このメニューは三年次生が授業の中で開発したもので、優秀メニューは区役所食堂等で実際に提供され、学生にとって大きな励みになっております。

一方就職関連では、食と健康のスペシャリストとして病院・福祉施設・保育園・給食会社等で活躍しておりますが、公務員試験対策講座の充実により、公務員の就職が増加してきております。その他の分野でも、大学や学生支援センターのバックアップのもと、学生の多様な



臨地実習報告会

夢の実現へ向けてサポートしていきたいと考えております。

学生支援センター

(学生支援・就職支援)

講座

エントリーシート対策講座

四月二十一日（木）、外部講師を招いて三年次生を対象にエントリーシート対策講座を実施しました。エントリーシートを書く上での注意点等の説明・解説があり、それらを踏まえて実際にエントリーシート作成に取り組みました。エントリーシート作成は就職活動において重要な事項のひとつであるため、本講座で学んだことを活かし就職活動の準備を進めてください。



就職活動のためのマナー講座(三年)

六月二十三日（木）、三年次生を対象に就職活動のためのマナー講座を実施しました。就職活動開始に備えた講座であり、学生同士で挨拶の仕方など確認し合う実習を行いました。

マナー講座(一年)

六月二十七日（月）、新入生を対象としたマナー講座を実施しました。本学が取り組んでいる「マナー向上運動」の一環で、参加者は楽しみながら受講していただきました。



就職支援

本年四年次生の内定状況（九月十五日現在）は、七五・〇%と昨年度比プラス二十・四ポイントと大幅に上昇しました。学生支援センターでは今後も就職未内定者に対し、継続して個別に就職支援を行ってまいります。

就職未内定者は積極的に学生支援センターを利用し、諦めずに就職活動を継続してください。

今年度から企業の採用選考活動が八月開始から六月開始に変更され、昨年度と比較して就職活動の短期集中化のため、事前の準備が今以上に重要となりました。度重なる就職活動環境の変化により学生の不安が増していますが、後援会の皆様におかれましても学生のサポートをお願い致します。

これから就職活動が始まる三年次生へ、学生支援センターでは就職専門業者によるガイダンスや学内業界説明会など多数の就職関連イベントを実施予定です。積極的にこれらのイベントに参加し、最新情報を収集して自身の就職活動に活かしてください。

就職支援にあたり、関係者の皆様のご協力をお願い致します。

食品学科

以和為貴

食品学科長 丸井 正樹



『和を以って貴しと為す』これは本学園の創設者である渡邊富久子先生がよく言われた言葉です。学を修めるにあたり、人として心得るべきことを示した訓辞でした。周りの人との協調は、学びの成果を上げること繋がり、社会で良き仕事ができることを説いています。教育の理念ともいえます。

現在の食品学科のディプロマポリシー（卒業時の到達目標）は建学の精神に基づき大よそ次のように定めています。

- 「食品技術者として
- 食品産業、流通・消費、衛生管理、食文化に貢献できる専



フィールド研修（長野県伊那市）

門知識と技術、技能を身につけている」

この目標を達成するための教育課程（カリキュラム）が編成され、それに従い授業が行われています。十分な学習内容になつていますが、食品学科ではこれに加えて、「これぞ大学」というものを体験することを推奨しています。大学ではそれが研究室での学生生活で得ることが出来ます。大学の研究室は、家庭、友達グループ、職場、社会といった集団の中間的な存在、あるいはそれらを合わせて割つたようなものといえるでしょう。しかも、その集団は自分たちで作りに上げることが出来る融通さを持っています。自分のアイデアを出して仲間と過ごす研究室。先輩後輩との交流経験も学生時代のみならず、社会人となつてからも役立つでしょう。『これぞ大学』を満喫するためには『以和為貴』が大切であることを学園創設者は述べたのでしよう。

食品学科は教員たちの『和』の精神でまわっています。食品学科といういい環境を提供することで、『以和為貴』の教えは学生たちにおのずと伝わるで

しょう。長い生涯の中のどこかでこれが意味を持つことを願っています。

学友会活動報告

●学友会総会・部・同好会説明会

四月十三日（水）、「学友会総会」が開催され、新役員の選出や新年度の行事予定などが報告されました。

引き続き、「部・同好会説明会」が開催され、各団体が熱心に新入生の勧誘を行いました。



学友会会長挨拶

●新入生歓迎会

四月二十八日（木）、「新入生歓迎会」が開催され、「公益財団法人日本花の会」主任研究員（樹木医）和田博幸氏「桜がつくる日本の文化」と題した特別講演が行われました。桜で作る加工食品や、食品開発についても深く話がされ、新入生は真剣に聴講していました。特別講演に続き、豪華賞品が当たる特別抽選会が行われ、非常に盛り上がり

ました。長い生涯の中のどこかでこれが意味を持つことを願っています。

た新入生歓迎会となりました。



和田博幸氏の特別講演

●体育祭

六月三日（金）、本学第一グラウンド（船橋市）で、体育祭が開催されました。一年次生はほぼ全員が参加し、出席率一〇〇%のクラスがクラスありました。上級生も多数参加し、白熱した競技が繰り広げられました。三年次生の管理栄養学科・食品学科の合同クラスが総合優勝し、学科の垣根を越えて交流を深める一日となりました。



●聖栄葛飾祭（大学祭）予告

今年度の『聖栄葛飾祭』は、十一月十二日（土）・十三日（日）に開催されます。テーマは「食の祭典（say year festival）」に決定しました。

今年も地元地域密着の大学祭として、葛飾区の後援や地元地域の協力等を得て開催されます。たくさんの方のご来場を心よりお待ちしております。



昨年度の聖栄葛飾祭

●部・同好会活動

平成二十八年度の学友会認可団体は、部六団体（体育系・四団体、文化系・二団体）、同好会十三団体（体育系・六団体、文化系・七団体）の計十九団体になります。また本学で団体へ所属する学生数は大学全体で、約六割を超えています。各団体が熱心に活動し、学年・学科を超えて交流する場になっています。地域の大会やイベント、ボランティア活動等、学内外行事への参加も年々増加しています。



バスケットボール部活動風景

副会長挨拶

後援会副会長 三岳 得津子



爽やかな秋風の中、学生の皆さんは聖栄祭に向けて大いに盛り上っていることでしょう。

後援会会員の皆様には、益々のご清栄のこととお慶び申し上げます。このたび、副会長を引き受けいたしました三岳と申します。私は本学短大二十期の卒業生です。校舎内に足を踏み入れる度、懐かしい気持ちになります。三十年以上の事ですが、一号館は当時のままです。恩師の福澤理事長先生の試験は難しく、優が取れなくて悔しかったのを覚えています。丸井教授、筒井教授は若くて優しい先生でした。みかんの缶詰を作ったのが印象的です。阿佐美教授は当時から全くお変わりにならなくて驚きました。就職課の先生の強い勧めもあって野村証券に就職しました。人生が好転するきっかけは当時のとても手厚い先生方の御指導のお陰で

す。今も変わらない校風が残っています。本学のきめ細かい御指導は少人数のクラスと家庭的な校風に支えられています。微力ながら私も副会長としてお役に立ちたいと思っています。宜しくお願いいたします。

管理栄養学科担任紹介

- 一年担任 高橋 祥子教授
- 一年副担任 橋場 直彦教授
- 二年担任 渡辺 順子教授
- 二年副担任 星野 浩子助教
- 三年担任 岡田 弘教授
- 三年副担任 植松 節子准教授
- 四年担任 新村真由美准教授
- 四年副担任 大塚 静子講師
- 一年担任 鈴木 等准教授

食品学科担任紹介



一年副担任 山本 直子助教

二年担任 伏脇 裕一教授

二年副担任 片山 佳子講師

三年担任 荒木 裕子教授

三年副担任 大内 和美助教

四年担任 筒井 知己教授

四年副担任 植芝 牧准教授

なお、各学年の教育・学生指導等において、助手の方々にもご協力いただいています。



平成28年度後援会役員紹介

会長	4FB	則作 子子子
副会長	3FA	雅友 得津
副会長	2FB	本藤 岳村
副会長	3NB	福加 三西田
副会長	2NB	井大 岩芹
副会長	4NA	前田 山橋
副会長	2FA	秋高 柴中
副会長	4NA	大勝 五松
副会長	4NB	越佐 新小
副会長	4NB	林柳 本部
副会長	4FA	阿綾 木小
副会長	4FB	須野
副会長	4FB	
副会長	4FB	
副会長	3NA	
副会長	3NA	
副会長	3FA	
副会長	2NB	
副会長	2NA	
副会長	2FA	
副会長	2FA	
副会長	2NA	
副会長	1NA	
副会長	1NB	
副会長	1FA	
副会長	1FB	
副会長	1FB	

後援会の寄贈

●学友会への寄贈

学友会が使用するパソコン一台、タブレット型パソコン二台及びNAS等の周辺機器、デジタルカメラ セットを購入し入し寄贈しました。学友会では、各種イベント等の企画書類の作成や学生団体等の活動記録等に活用し大いに役立っています。



●就職関係

保育園・食品業界情報

管理栄養士職等で就職する求人見込先のデータとして『全国学校データ(保育園)』、食品関係業界に就職する学生に対して『食品メーカー総覧』、『食品流通総覧』をデータ及び就職関連書籍を購入し寄贈しました。学生は学生支援センター内のパソコンで自由に閲覧・加工ができ、関連書籍についても貸し出しを行っています。学生の為に広く活用されています。

